

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 12 月 19 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp



【2018年ブルキナファソナショナルデー記念式典の様子】

## ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2018 が開催されました

12月8と9日に、都筑区センター北駅前で「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2018」が開催されました。当イベントは、都筑区とドイツとの国際交流を図るため2012年から実施されています。



当日は駐日ドイツ連邦共和国大使が来場されたほか、ステージではクリスマスソングやダンスが披露されました。ドイツ料理やクリスマス雑貨のテント出店に加え、今年は地域の製造業とドイツ系企業が色彩鮮やかに紹介されるパネル展示も特別企画。日本語とドイツ語を併記し、来場者の国際理解を促しました。



子育て世代が多く暮らし、多くのドイツ人が居住する都筑区らしい、地域特性を最大限に活かした日独交流イベントとなりました。

## 「2018年ブルキナファソナショナルデー記念プログラム in 横浜」が開催されました

12月4日から1月6日まで、「2018年ブルキナファソナショナルデー記念プログラム in 横浜」(主催:駐日ブルキナファソ大使館、共催:横浜市)が開催されました。当イベントは、2014年から5年連続に横浜で開催されています。



会場となった JICA 横浜では、ブルキナファソに関する写真展示やブルキナファソ料理のランチ提供が行われました。



12月16日にはナショナルデー記念式典が開催され、100人以上の方々に参加いただきました。パスカル・バジヨゴ大使による挨拶の後、紀谷昌彦 TICAD 担当特命全権大使、渡辺巧教 横浜市副市長、松本研 横浜市会議長、加藤宏 国際協力機構理事、

佐藤祐文 日本アフリカ友好横浜市議員連盟会長が来賓としてスピーチを行いました。

また、「ブルキナファソへの投資」映像上映やファッションショー、音楽・ダンスのパフォーマンスも行われ、会場全体が一体となって盛り上がりました。



## JICA・横浜市立大学連携講座にて横浜市の国際協力について講義を行いました

12月18日、横浜市立大学と JICA 横浜の特別連携講座(全15回)にて国際協力課長が講師を務め、横浜市の国際協力について講義を行いました。

この特別連携講座は、2002年から始まったもので、JICAのスタッフを中心とした講師陣により、日本の国際協力事業がどのように展開されているかを理解し、持続可能な世界の発展に向けた協力、協働事業の在り方を追求していくことができるようになることを目的としています。また、横浜市の取組を通じて、横浜市や国際協力への理解も深めました。